

事務局だより

6月に通信を出して依頼、ちゃんとした通信をお送りできず、申し訳ありませんでした。その間、今井さん、ありがとうございました。

9月末まで、ドキュメンタリー映画「言葉のきずな」8月の劇場上映に向けて、エンドロールの見直し、ジャスラックへの申請、披露試写会、映画のリーフレットの作成、全国大会の記録集の制作、自主上映会の申し込み受付・手配等、色々やるべきことが重なり、事務局、手一杯の状態が続いていました。

おかげさまで、10月4日に最終日を迎えた東京アップリンクでのロードショーは、2週間で300名余りの方々が来場してくださり、リーフレットも80部ほど買って頂きました。

ただいま大阪シアターセブンで、10月18日まで上映中です。関西方面にお知り合いの方がいらっしゃいましたら、一声掛けて宣伝してください。

また、今月から自主上映会が各地で計画されています。

渋谷のアップリンクで映画を見てくださった教え子からの手紙です。

東京新聞に「言葉のきずな」という文字があり、その記事より早く私の目に飛び込んできたのは、やさしい穏やかな、昔と少しも変わらない先生のお顔でした。

早速日曜日、渋谷に出かけました。

画面の中で私は何度も顔き、涙し、思わずわらってしまったりと。

帰りの電車の中で何か嬉しくて、パンフレットを何度も見直し「この人が私の先生だったのよ」と知らない隣の席の人に話しかけたくなる心情でした。(抜粋)

他にも親娘3人で見に来られた方より・・・出演されていた皆様の生き方に、自らの生活を重ね、頷いたり涙したり笑ったりして、なんと短い100分だったことでしょう。皆様の「外へ！前へ！進む！」気持ちが本当にすごい。(抜粋)

ご主人が失語症だった方より・・・「言葉のきずな」を見て大変言葉に表せないほど感動しました。言葉を失った方々、一人一人が演劇活動を通して自分の思いを短いけれど表現していく過程、そして表現し終わった時の笑顔が皆さんとても素敵でした。夫は昨年11月に肺炎で亡くなりましたが、私の8年余の介護生活と重ねながら映画を観ました。ありがとうございました。(抜粋)

映画のリーフレットが出来ました。 A5版 オールカラー14ページ 1冊400円です。

ご希望の方は宮島まで

事務局 土屋良秀・澪子

ご連絡

1 10月例会

日 時： 10月12日(土) 13時30分～15時30分
場 所： 北信総合病院 2階リハビリ室
内 容： 土雛色づけ 他
申し込み： 10月10日までに今井まで

2 言の葉の会

日 時： 10月19日(土) 10時～13時
場 所： ふれあい福祉センター 4階 和室
内 容： 下諏訪のワークショップ打ち合わせ他

3 下諏訪 コミュニケーションワークショップと上映会

日 時： 10月23日(水) 13時30分～16時30分
場 所： 下諏訪総合文化センター (下諏訪町西鷹野町 4611-40)
内 容： コミュニケーションワークショップ・名場面・上映会

ご報告

1 ぶらり旅

日 時： 6月29日（土）

場 所： 乗鞍高原

バスが入山できず残念でしたが、かりんとう工場を見学してきました。

2 中央病院例会

日 時： 7月13日（土）14時00分～16時00分

場 所： 中央病院 5階リハビリテーション室

内 容： いなり寿司と、かんてんぱぱのゼリーを使ったデザート

中央病院で用意してくださった味付け稲荷 1人3枚宛にすし飯を詰めていなり寿司の出来上がり。

3枚の稲荷を広げてつなげ、ひとつの大きないなり寿司を作った人もいました。どうやって食べるのでしょうか？



いなり寿司とかんてんぱぱのゼリーで作ったデザート

3 言の葉の会

日 時： 7月18日（木）

場 所： ふれあい福祉センター 4階

4 「言葉のきずな」披露試写会

日 時： 7月28日（日）

場 所： 東京四谷区民ホール

初めての劇場上映。患者・家族・マスコミ・医療関係者・福祉関係者・一般の方々100名程の方々が見に来てくださいました。

「ぐるっと一座」有志も、ジャンボタクシーを使って応援に駆けつけました。

日 時： 8月10日（日）

場 所： 大阪シアターセブン

大阪でも披露試写会が行われました。大阪は大変な暑さ。ちょうど淀川の花火大会の日で、映画館がある十三（じゅうそう）付近はかなりの人出でした。



5 日赤例会

日 時： 8月31日（土）

場 所： 長野日赤 2階会議室

日赤に新しく赴任されたST、米山未香先生による災害時の心得

災害時、どのようにして命を守るか、改めて勉強しました。

災害が無いに越したことはありませんが、万に備え、心得ておきましょう。

お勉強の後は、二木先生のギター伴奏で楽しく合唱タイム



6 言語聴覚の日

日 時： 9月1日（日）

場 所： 長野医療衛生専門学校

言語聴覚の日に合わせて、長野医療衛生専門学校と東信 ST 会が「言葉のきずな」上映会を開催しました。長野県下では初の上映会で、70名程の方が参加しました。

「ぐるっと一座」もコミュニケーションワークショップで、専門学校の生徒、地域の方々と触れ合いました。

7 市民病院例会

日 時： 9月14日（土）

場 所： 長野市民病院

第1部は管楽器の中でも一番低音を出すというファゴットの演奏。

ファゴットはイタリア語、英語ではバスーンと言います。

ジュピター、イエスタディ、美女と野獣などお腹の底に染み入るような低音の無力を満喫しました。いや～、素晴らしい演奏です。

第2部は、音楽療法士、熊木先生、柴田先生と一緒に楽器演奏を楽しみました。

音楽に合わせて手の運動、里の秋、リンゴの歌、うさぎなど秋の歌を歌ってから、楽器を使っておもちゃのチャチャチャなどを演奏。楽しい時間があつという間に過ぎました。



9月13日の知事会見で、ランチミーティングと6月1日の全国大会の演劇出演について述べています。

11 県政ランチ・タウンミーティングの成果について

信州大学 村松ひかる 氏

はじめまして。信濃毎日新聞社でインターンをしております信州大学の村松ひかるです。知事がこれまで力を入れてなされる県民とのランチミーティングですとか、企業経営者との会食などから政策に生かしたことは何かございますでしょうか。

長野県知事 阿部守一

そうですね。ずっとランチミーティング、タウンミーティングやってきていますが、政策に生かしたことってというのは、私いろんな意見を聞く中で、かなりいっぱい生かしてきてると、特にこれがどうこうとかいう話ではなくて、例えば、何があるのかな、今すぐここで言えといわれてもあれですけども、県民の皆さんのやりたいこととか、希望することってというのはさまざまあるわけですけども、私もなんていうか、県民の皆さんの意見をただ聞くだけじゃなくて、どっちかという私の方がいっぱいしゃべってる場合もありますけれども、そういう中で同じような方向性で同じようなことで、やらなければいけないなというようなことは一緒になって取り組んでいきましょうという形で、例えば、なんですかね、これはちょっと県の政策そのものではないかもしれませんが、**例えば失語症の皆さんと意見交換させてもらいました。で、失語症の皆さんに対する行政としての支援のことも考えてきましたし、私自身も失語症の皆さんの劇と一緒に参加をさせていただく中で、失語症の皆さんの思いを共有させてもらいましたし、失語症の皆さんとの触れ合いの中で、改めて全ての皆さんに居場所と出番がある長野県を創ろうという意味合いっていうものが、私の中でもはっきりしました。本当にリハビリ強く乗り越えられた皆さんの中で、私が、セリフを忘れるというようなことで、本当に皆さんすごい努力をされて生き生きされているなど、で、こういう皆さんの活動をやっぱこれからも応援していかなくちゃいけないということで思いを新たにしましたし、いろんな意見交換を通じて、例えば地域づくり協力隊の皆さんとも意見交換をさせてもらいました。私は地域づくり協力隊、地域おこし協力隊ですね。地域おこし協力隊の皆さんの活動っていうのは非常に長野県にとって有効な取り組みだということで、これは市町村課の方に言って、今長野県70名の人たち、今70か71どっちかだと思いますけど、市町村の皆さんにもそういう働き掛けをしてかなり地域おこし協力隊の方増えてきています。そういうことで、私が感じたことをそのままストレートである場合とない場合と両方ありますけれども、具体的な政策運営の中に反映させてきているというところであります。**

長野失語症友の会ブログ

言葉のきずなホームページ

ドキュメンタリー映画「言葉のきずな」Facebook

「言葉のきずな」Facebook

http://blog.canpan.info/kotonoha_blog/

<http://kotobanokizuna.com/>

<https://www.facebook.com/Kotobanokizuna>

<https://www.facebook.com/kizuna.kotobano>

twitter



映画「言葉のきずな」制作委員会
(@kotobanokizuna)

お問い合わせ

今井 浄子 026-283-6852

土屋 凜子 026-214-0410